

事業評価シート

担当課・室長：自然環境計画課長

事業名	自然環境保全地域等の保全管理
上位施策名	自然環境保全と自然とのふれあいの推進
1 事業の概要	<p>自然環境保全行政推進のため、都道府県に対する助言、情報交換。</p> <p>自然環境保全法に基づく原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域の指定並びに保全計画の策定を行うための調査の実施。</p> <p>原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域に設置されている保全施設（標識等）の管理。</p> <p>世界自然遺産地域（白神・屋久島）の保全管理状況の把握と体制の整備。</p> <p>白神山地の巡回指導。</p> <p>自然遺産地域登録が地域に与えた影響についての調査。</p> <p>自然遺産地域内における登山道整備についての検討調査。</p>
2 進捗状況	<p>毎年1回都道府県担当者会議を開催している。</p> <p>原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域の指定並びに保全計画策定のための情報を収集した。</p> <p>世界自然遺産地域管理報告書を作成し、UNESCO 世界遺産センターに提出した。</p> <p>白神山地における巡回指導を実施している（約130人日/年）。</p> <p>白神山地において入山者カウンターを設置し、基礎的な情報を収集した。</p> <p>林野庁、文化庁、県との共同による世界遺産地域連絡会議を設置し、入山規制のあり方を含めた保護管理方策に関して検討した。</p> <p>白神山地について、世界遺産登録が地域社会に与えた影響（主として文化的側面）の概略を把握した。</p> <p>自然遺産地域における登山道管理マニュアルを策定している（～14年度）。</p>
3 評価	<p>都道府県との間で情報交換が図られたことで、都道府県自然環境保全地域の保全管理及び自然環境保全地域、原生自然環境保全地域の地域と連携した保全管理の推進に効果があった。</p> <p>条約上、各締約国は各国内の世界遺産について状況報告をすることが必要とされており、この義務を適切に果たした。</p> <p>巡回指導により適正な保全と利用の推進が図られるとともに、巡回指導と入山者カウンターの設置により現地の利用状況の実態が把握され、白神山地の適正な保全と利用のあり方の検討に資する有益な情報が得られた。</p> <p>世界遺産登録が地域社会に与えた影響を把握することで、地域と連携した保全管理の推進に効果があった。</p> <p>世界遺産地域連絡会議を通じて、林野庁、文化庁、県と連携、協力した適正な管理の推進に大きな効果があった。</p>

4 予算事項名	・自然環境保全地域等保全対策費 ・世界自然遺産地域保全対策費
5 対応副施策等	